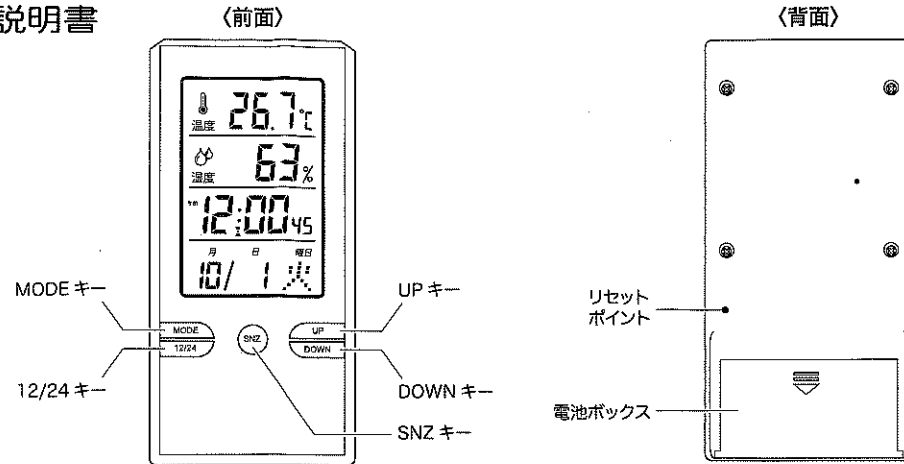
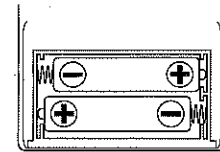


## 取扱説明書



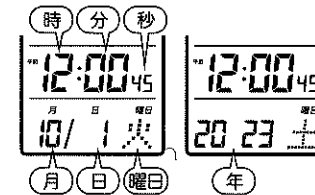
### 電池のセット方法 (使用電池…単4電池×2本)

1. 本体背面の電池ボックスのふたをスライドさせて外します。
  2. 右図のように、電池の+極-極の向きを正しくセットします。
  3. ふたをもとに戻します。
- アラーム音が小さくなったり途切れる、ディスプレイの表示が薄いなどの時は電池を交換してください。
  - 電池を入れ直した後は、現在時刻、アラーム時刻をセットし直してください。



### 現在時刻の合わせ方

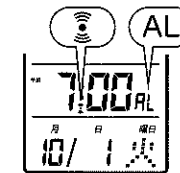
1. 現在時刻表示の状態ではMODEキーを長押しすると「秒」が点滅します。
2. 点滅状態でMODEキーを押してゆくと、点滅する項目が以下のように移り変わります。  
秒 → 時 → 分 → 年 (2099年まで対応) → 月 → 日  
それぞれUPキー・DOWNキーでご希望の数値に合わせます。
- UPキー・DOWNキーを押したままにすると数値が早く進みます。
- いずれのキーも押さないまま約20秒経過すると自動的に現在時刻表示に戻ります。
3. 「日」を合わせた後にMODEキーを押すと現在時刻表示に戻ります。
- 現在時刻表示やアラーム表示の時に12/24キーを押すと12時間表示 ↔ 24時間表示が切り替えられます。



(現在時刻表示)

### アラーム時刻の合わせ方

1. 現在時刻表示の状態ではMODEキーを1回押すと、アラーム表示になり「AL」の文字が表示されます。
  2. MODEキーを長押しすると「時」が点滅します。UPキー・DOWNキーで「時」を合わせます。
  3. MODEキーを押すと「分」が点滅します。UPキー・DOWNキーで「分」を合わせます。
  4. MODEキーを押すと現在時刻表示に戻ります。
- アラームのON/OFF  
現在時刻表示やアラーム表示のときに、DOWNキーを押すと⏏マークが表示されアラーム機能ONになります。アラーム機能が不要な時は再度DOWNキーを押して⏏マークを消します。

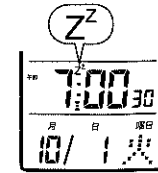


(アラーム表示)

●アラーム音が鳴ったとき

- MODE キーを押す
  - 12/24 キーを押す
  - UP キーを押す
  - DOWN キーを押す
  - SNZ キーを押す
  - いずれのキーも押さない
- アラーム音が止まります。
- アラーム音が止まり、スヌーズ機能\* が働きます。
- 2分後、自動的にアラーム音が止まります。

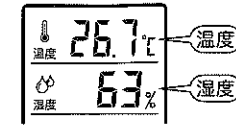
\* スヌーズ機能 … アラーム音を止めても5分後再びアラーム音が鳴ります。この機能が働いているときはZZマークが点滅します。スヌーズ機能を終了するときはSNZキー以外を押します。



〈スヌーズ機能作動時〉

温度・湿度の表示について

- ・温度表示…測定範囲 0~50°C
- ・湿度表示…測定範囲 20~90%
- 本製品は家庭の室内での使用を想定した製品です。
- 測定値には誤差があります。あくまで目安としてご使用ください。  
またエアコン、加湿器などの影響により正しく表示できない場合があります。



ディスプレイの表示に異常がみられる時は

本体裏面のリセットポイントを先の細いもので押してください。(ただし金属の棒など通電性のあるものは使用しないでください)  
その後は現在時刻、アラーム時刻をセットし直してください。

⚠ 取扱上のご注意

- 液晶ディスプレイにはできるだけ触れないでください。
- 以下のような場所では使用、保管しないでください。
  - ・急激な温度変化の起こる場所
  - ・火気や熱源のそば、直射日光が当たるなど高温の場所
  - ・水濡れの恐れのある場所や蒸気の出る場所、湿気の多い場所(防水仕様ではありません)
  - ・激しい振動や磁気の発生する場所
  - ・ほこりの多い場所
- 故意に落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- 平らな安定した場所でご使用ください。
- 分解・改造しないでください。
- シンナー、ベンジン、スプレー式クリーナー類では拭かないでください。
- 小さなお子様の手の届かない所で使用・保管してください。
- 本体に異常を感じたり、変形・破損した場合は、直ちに電池を外し使用を中止してください。
- 本来の用途以外に使用しないでください。

■電池に関するご注意(必ずお守りください)

電池の使い方を誤ると、電池が液漏れ、発熱、破裂したり、ケガや故障の原因となるので、次のことを必ずお守りください。

- ⚠ 警告
  - 電池は乳幼児の手の届かないところに置く。電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談する。
  - 電池の液が目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やケガなどの恐れがあるので、すぐに多量のきれいな水で洗い流し、医師の治療を受ける。
  - 電池は充電、分解、変形、加熱、はんだ付け、火に入れるなどしない。
  - 電池の(+)(-)をショートさせたり、ネックレスなどの金属製のものと一緒に携帯・保管しない。
- ⚠ 注意
  - 電池の(+)(-)を逆に入れない。
  - 新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池を混用しない。
  - 長期間、機器を使用しない場合には、機器から電池を取り出して保管する。
  - 電池を保管や廃棄する場合は、他の電池や金属製のものと接触しないようテープなどで端子部を絶縁する。